



## 日本人の伝統的な食文化「和食」に親しもう

「和食」というと何を思い浮かべますか？ ご飯・みそ汁・おかずの組み合わせや、すし、そば、うどん、天ぷら、おでんなどの料理を思い浮かべる人もいるかもしれません。また、ラーメンやカレーといった外国から伝わった料理も、アレンジが加えられて日本独自の料理として発展し、外国人観光客にも人気のグルメとなっています。



一方で、ライフスタイルの変化によって、地域に伝わる郷土料理や行事食などの伝統的な食文化が失われつつあり、その保護・継承が課題となっています。そのような背景から、2013年に「和食；日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産へ登録されました。これは料理としての和食だけでなく、「自然の尊重」という日本人の精神を体現した食に関する「社会的慣習」のことで、以下の4つがその特徴として挙げられています。

| 「和食」の特徴                  |                          |                         |                          |
|--------------------------|--------------------------|-------------------------|--------------------------|
| <p>多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重</p> | <p>健康的な食生活を支える栄養バランス</p> | <p>自然の美しさや季節の移ろいの表現</p> | <p>正月などの年中行事との密接な関わり</p> |

## 「和食」に欠かせないもの



ご飯として食べるほか、団子や餅にしたり、発酵させて調味料にしたりと、形を変えて用いられます。



昆布やかつお節、煮干し、ほししいたけなどの食材から「うま味」を引き出したもので、和食の味の基本です。「うま味」は日本人が発見した日本独自の味覚で、海外でも「UMAMI」と呼ばれます。



微生物の力を利用して、独特な風味やうま味を作り出した発酵調味料の数々も、和食には欠かせません。

## 日本の食文化を大切にするために、心がけたいこと

食器を正しく並べましょう



「いただきます」「ごちそうさま」を心を込めて言いましょう



お箸を正しく使いましょう



地域に伝わる郷土料理や行事食を味わってみましょう



## 11月の献立から

### 11/7 とんかつの日

夏を元気に過ごすために7月の終わりにうなぎを食べますが、それと同じように冬になる前に「とんかつ」を食べて元気に冬をのりきろうという日です。

### 11/15 昆布の日

(給食は11/14に出します)

11月15日が昆布の日になった理由は、子どもの成長を願う七五三にみんなで昆布を食べて健康に成長しましょうという理由からきています。今日の昆布は、おにこんぶだしを使った「おにこんぶさんぎ」と厚岸の棹前昆布を使った「手作りふりかけ」です。

### 11/24 いい日本食の日

(給食は11/25に出します)

数字のごろ合わせで、「11月24日がいい日本食の日」となりました。和食が、ユネスコ無形文化遺産に登録されたことで、和食のよさを見直して、これからも残していきたいという取り組みの1つです。和食の基本は、一汁三菜です。ごはんとかつお節や昆布でとった「だし」を使った汁物とおかずが3品です。和食を食べることで、すばらしい日本の食文化を残していくことができます。